

二〇二二年 七月二二日（金） 一九：〇〇開演 一八：〇〇開場  
すみだトリフォオニーホール 小ホール

# 青山恵子

邦楽器と奏でる二人コンサート

白秋の心・漱石の魂

# 高津佳

## ■第一部

邦楽器による白秋×日本名歌再考

編曲・高橋久美子

◆藤井清水作曲

日の入り／せめて急ぎやれ／阿蘭陀船

◆山田耕筰作曲

この道／砂山／待ちぼうけ

歌曲集「AIYANの歌」より ほか

## ■第二部

『夢十夜幻想』（新作初演）

原作・夏目漱石『夢十夜』

脚本・大島尚志

作曲・高橋久美子

白い百合になった女（第一夜）

身投げを後悔した男（第七夜）

ほか三篇

笛（・打楽器）…あかる潤

三味線…本條秀慈郎

琵琶…久保田晶子

二十五絃箏…山本亜美

十七絃…池上亜佐佳

【チケット取扱】（4月1日発売開始）全席自由 4,000円

■ イープラス eplus.jp（スマートフォン／PC／Famiポート）  
（チケット代と別途、システム利用料・店頭発券手数料などがかります）

■ e-mail:keiko-uguisu@ezweb.ne.jp FAX:03-3369-1929（青山）

【主催】片岡音楽事務所

【制作協力・公演お問い合わせ】 有限会社 塚田音楽企画

aoyamxtakat@gmail.com



◆塚田佳男氏は私の大学院時代から伴奏者としてずっと支えてくださった恩人ですが、又の名の歌手・高津佳としては、悔しいほどに楽々と高音を出し、その甘い声で温かさや癒しを届けてくれるライブ歌手！でもありません。

私達の同志の脚本・演出家の大島尚志氏、粋で斬新な邦楽器の作品を沢山手掛けている作曲家・高橋久美子氏の協力を得ての二人でのコンサートです。

### 青山恵子

◆若い頃から日本の伝統芸能が大好きで、邦楽の世界に憧れ続けてきた私が傘寿を目前とする今、ようやく邦楽器と共に行きたい、語る日が来るとは思いもかけぬ幸せです。

邦楽器というのはたった一音発しただけでも、そこに密度の濃い世界が広がっていきます。その邦楽器と互角に渡り合うのは身の引き締まる覚悟が必要ですが、邦楽器との共演に長けた青山恵子さんの胸を借りながら、高橋久美子さんの紡いだ感性あふれる新しい和の響きに包まれて、私自身の「うた・声」がどう飛翔していくのか……愉しみでなりません。

### 高津佳



笛（打楽器）

### あかる潤

学習院大史学科卒。NHK邦楽技能者育成会、東京藝術大邦楽科別科修了。龍笛を芝祐靖氏、篠笛を藤舎正生氏、邦楽囃子を藤舎華鳳氏に師事。日本舞踊を学び、二〇二一年は国立大劇場五條流創流八〇周年公演で草摺引の舞鶴役を務める。「日本音楽集団」「アンサンブル室町」に所属。弘田龍太郎（浜千鳥など作曲）は曾祖父にあたる。

### 三味線 本條秀慈郎

本條秀太郎に師事。

二〇一五年度ACCフェローシップ受給。

一七年度文化庁文化交流使。一九年ロンドン

ウィグモアホールリサイタル。二〇年大野和

士指揮「東京都交響楽団との共演で藤倉大（三

味線協奏曲）日本初演。二一年高橋悠治作

品による連続リサイタルを開催し第七二回芸

術選奨文部科学大臣新人賞受賞。第七〇回文

化庁芸術祭新人賞、第二五回出光音楽賞、第

二七回京都青山音楽賞

青山賞、第一二回創造する伝統賞受賞。



### 琵琶

### 久保田晶子

平家物語等の古典曲は

もちろん、童話や民話

落語を元に新作の語り

作品を創作、自演。ア

ニメ・テレビ音楽の録音、劇中音楽への参加

器楽としてのアンサンブル演奏まで活動は多

岐にわたる。国外オーケストラと武満徹作品

のソリストとして共演するなど、国外での活動も多数。二〇一九年琵琶コンクール第一位。文部科学大臣賞。

### 二十五絃等 山本亜美

六歳より、狩谷章子氏に箏・三絃を師事。文化庁新進芸術家国内研修制度にて野坂操壽氏

に師事し、その後二十五絃等を主な活動軸として

している。リサイタルを毎年開催し新作を発表、またピアノ・声・

トランペット等や花や書の表現者との即興演奏など、常に楽器の可能性を探っている。



### 十七絃 池上亜佐佳

一九九六年東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業。九七年同大

学研究生修了。NHK邦楽技能者育成会修了

（四二期）。一九九六年第六六回読売新聞社主催新人演奏会出演。九

六年NHK邦楽オーディション合格。池上

亜佐佳十七絃等リサイタル開催。池上眞吾

作品集、江戸信吾作品集などのCDに参加。宮城社師範。

### 作曲・編曲 高橋久美子

クラシックはもとより邦楽、演劇、映像音楽等ジャンルを超えた作曲活動を国内外で行う。

邦楽曲においては必ずその楽器を所有し習得してから創るというスタイルをとっている。

作曲を田辺恒弥に師事。作曲家グループ（邦楽二〇一〇）代表、日本音楽集団団員。平成三〇年度文化庁芸術祭レ

コード部門優秀賞受賞CD「解体新譜」（邦楽ジャーナル）



### 脚本・演出 大島尚志

中央大学文学部哲学専攻卒業。故栗園安彦に師事。M・ゴボー二女史に表現基礎を学ぶ。藤原歌劇団での研鑽後、

モーツァルトのオペラ全曲ほか、イタリヤ、日本オペラなど多数演出。日本歌曲による演奏会の演出構成にも力を注いでいる。また「耳なし芳一」「聖徳太子」「火麻呂の木」「ありがとう北里先生」「武蔵国防人の歌妻の歌」「多摩の恋歌二題」「歌うジイたち」「座間賛歌」など新作の作詩、脚本、

台本にも積極的に取り組んでいる。東京音楽大学講師。平成音楽大学客員教授。

デザイン：遠藤湖舟

\*このコンサートは感染防止対策を十分に行った上で開催いたします。

